

令和6年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価に関する報告書
(令和5年度事業対象)

令和6年(2024年)8月

飯山市教育委員会

目 次

I	点検・評価制度の概要	1
1	自己点検・評価の考え方	
2	点検評価の対象事業	
3	点検評価の方法	
II	点検評価の結果	2~4
1	教育委員会及び教育委員の活動	
	（1）教育委員会議の令和5年度開催実績	
	（2）その他の会議・活動	
2	教育委員会事務局の事務事業評価の結果	5~29

I 点検・評価制度の概要

1 自己点検・評価の考え方

平成19年(2007年)6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

教育行政の推進にあたり、その政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和5年度の教育委員会事務事業について自己点検・評価を実施した結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(訓条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする

2 点検評価の対象事業

点検・評価の対象は、原則として、教育委員会会議及び委員の活動、事務局が重点事業として取り組んだ主な事務事業としています。重点事業の目安として、飯山市総合計画の3か年実施計画に掲載(ハード500万円以上、ソフト100万円以上の2次経費+新規事業)及び、その他必要と認めるものとし、飯山市総合計画の重点施策項目により配列しました。

3 点検評価の方法

教育委員会会議及び委員の活動については年間の活動状況を報告し、事務事業については対象事業ごとに、取り組み内容及び結果、決算額、評価、今後の取り組み・課題等を掲載したものを報告します。

なお、評価にあたっては、飯山市総合計画、飯山市総合戦略、飯山市教育大綱に掲げる目標数値やコストとのバランスなどを勘案し、次の4区分の評価とします。

「順調」…優れた取組みが多く、十分成果が上がっている

「概ね順調」…優れた取組みがいくつかあり、成果は上がっている

「要検討」…一定の成果は上がっているが課題もあり、改善の必要がある

「要改善」…成果は十分上がっておらず、改善の余地が多く抜本的な見直しが必要

Ⅱ 点検評価の結果

1 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会及び教育委員の令和5年度開催実績

教育委員会及び教育委員は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和5年度においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。また、議決事項以外に城北中学校区新統合小学校の進捗状況についてなど、緊急性の高い行政課題全般について協議・報告を行いました。

○会議回数13回、審議案件29件

開催日	議 決 事 項
4月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・飯山市図書館協議会委員の任命について ・飯山市社会教育委員兼飯山市公民館運営審議会委員の委嘱について ・飯山市公民館専門部員の委嘱について ・飯山市美術館運営協議会委員の任命について ・通学区区域外就学の同意について 1件
5月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・飯山市図書館協議会委員の任命について ・ふるさと館運営協議会委員の任命について ・飯山市美術館運営協議会委員の任命について ・通学区区域外就学の許可について 1件
6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・通学区区域外就学の許可について 1件
7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・飯山市社会教育委員兼飯山市公民館運営審議会委員の委嘱について

- ・城北小学校整備にかかる地域説明会：7月31日（戸狩小）
- ・地域懇談会：9月13日（東小）、14日（戸狩小）、19日（常盤小）、
20日（泉台小） 計4回
- ・地域説明会：12月13日（常盤小）、14日（戸狩小）、19日（東小）、
20日（泉台小） 計4回

- ◆ 新任校長・教頭・新規採用教員辞令交付式（4月）
- ◆ 保育園入園式・小中学校入学式（4月）
- ◆ 小学校運動会（5～6月）
- ◆ 中高飯水教科用図書採択研究協議会（6・8月）
- ◆ 県主幹指導主事学校訪問（6～7月・9～10月） 計7回
- ◆ 保育園訪問：7月14日 秋津保育園 7月20日 瑞穂保育園
- ◆ 教育委員再任：平野弘蔵教育委員（10月8日～）
- ◆ 飯水・中野下高井教育課程研究協議会（10月19日）
- ◆ 長野県市町村教育委員会研修総会（10月27日：松本市）
- ◆ 市PTA連合会からの質問・要望（書面；11月）
- ◆ 保育園卒園式・小中学校卒業式（3月）
- ◆ その他各種会議、大会、式典等への出席

2 教育委員会事務局の事務事業評価の結果一覧

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
1	魅力ある保育サービスの推進	延長保育委託事業	順 調	子ども育成課
2		通園バス運行事業	概ね順調	子ども育成課
3	子育て世代支援	児童手当給付事業	順 調	子ども育成課
4		児童扶養手当等給付事業	順 調	子ども育成課
5		児童クラブ等運営事業	概ね順調	子ども育成課
6		児童福祉施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
7		飯山市子ども館等運営事業	順 調	子ども育成課
8		幼児教育無償化事業	順 調	子ども育成課
9		私立幼稚園運営支援事業	順 調	子ども育成課
10		ひとり親世帯等生活支援特別給付金給付事業	順 調	子ども育成課
11		子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	順 調	子ども育成課
12		城北中学校区統合小学校児童クラブ整備事業	概ね順調	子ども育成課
13		子ども家庭課総合支援拠点設置事業	概ね順調	子ども育成課
14		学校給食費負担軽減事業	順 調	子ども育成課
15	生き抜く力を育むための教育	学力向上総合対策事業	概ね順調	子ども育成課
16		小中学校図書館図書整備事業	順 調	子ども育成課
17		教師用教科書指導書購入事業	順 調	子ども育成課
18		学校保健特別対策事業	順 調	子ども育成課
19	公正で質の高い学力の保障と自分のために必要な資質を磨く教育	小学校施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
20		中学校施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
21		新たな小学校づくり事業	概ね順調	子ども育成課
22		育英資金貸付事業	概ね順調	子ども育成課
23	新たな時代に対応できる力を磨く教育	中学校国際交流事業	概ね順調	子ども育成課
24		英語教育推進事業	順 調	子ども育成課
25		小中学校 I C T 教育推進事業	概ね順調	子ども育成課
26	飯山を担うためのふるさと教育	冬期学校スポーツ振興事業	概ね順調	子ども育成課
27		総合教育推進事業	順 調	子ども育成課
28		平和学習事業	概ね順調	子ども育成課
29	共生社会が実現するための教育	心の教室相談員設置事業	概ね順調	子ども育成課
30		特別支援教育支援員配置事業	概ね順調	子ども育成課

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
31	共生社会が実現するための教育	不登校児童生徒支援事業	概ね順調	子ども育成課
32	地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツ	中学校部活動支援事業	概ね順調	子ども育成課
33	多様性を認め合う地域づくり	男女共同参画推進事業	概ね順調	人権政策課
34	人権意識の啓発活動の推進	人権同和教育推進事業	概ね順調	人権政策課
35	学びと生きがいつくり	飯山雪国大学事業	概ね順調	市民学習支援課
36		地区館事業	概ね順調	市民学習支援課
37	魅力ある図書館づくり	読書普及事業	概ね順調	市民学習支援課
38	歴史・文化の保存、伝承と活用	文化的景観保護推進事業	概ね順調	市民学習支援課
39		文化財保存管理事業	順 調	市民学習支援課
40	芸術文化活動の推進	ふるさと学習推進事業	概ね順調	市民学習支援課
41		企画展開催事業	概ね順調	文化交流課
42		芸術文化振興事業	概ね順調	文化交流課
43	スポーツ活動の推進	スポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進課
44		ジュニアスポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進課
45		スポーツツーリズム推進事業	概ね順調	スポーツ推進課
46	スポーツ施設の魅力化	体育施設整備事業	概ね順調	スポーツ推進課
47		第82回国民スポーツ大会開催事業	概ね順調	国民スポーツ大会準備課
48	防犯対策の推進	犯罪被害者等支援事業	概ね順調	人権政策課

事業名・担当課	No. 1	延長保育委託事業	子ども育成課
事業概要	保育時間を超える延長保育を実施。 延長保育は市内公立全園及び私立保育園で実施。（事業費はめぐみ保育園への委託料）		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育時間の延長に対する需要に応じ、保育所8園にて延長保育を実施し、児童福祉の向上に努める。 ・ 実施保育所 公立：7園（全園）私立：1園（めぐみ） 実施日数：282日、 延利用人数：2,521人 <p>○ 保育時間を延長することで、子育て中の共働き世帯等を支援している。</p>		
決算額	6,028 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	共働き世帯、ひとり親世帯及び核家族化の進行等により、保育標準認定（11時間保育）が増えており、延長保育も含め対応する保育士の確保が年々困難となっている。		

事業名・担当課	No. 2	通園バス運行事業	子ども育成課
事業概要	保育園の統廃合により、遠距離の保育園に通園が必要となった世帯の支援のため、通園バスを運行する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所の統廃合により、遠距離の保育園に通園する児童の交通手段確保のため、通園バスの運行を委託。 令和5年度運行台数 4台 しろやま保育園…1台（斑尾）、いずみだい保育園…1台（外様） 瑞穂保育園…1台（瑞穂中央）、とがり保育園…1台（北瑞） ・ 運行委託費 6,569千円 しろやま保育園 1,331千円、いずみだい保育園 1,810千円 瑞穂保育園 1,725千円、とがり保育園 1,703千円 <p>○ 遠距離通園する児童の交通手段及び安全が確保されている。</p>		
決算額	8,382 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を継続し、遠距離通園世帯の負担軽減を図る。 また、通園バスについても計画的に更新を行う。委託先の運転手不足および添乗する保育士の確保が今後の課題となっている。		

事業名・担当課	No. 3	児童手当給付事業	子ども育成課
事業概要	中学校3年生までの児童を対象に、国の制度に基づき児童手当を支給する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校3年生までの児童を対象に児童手当を支給。 支給対象者：延べ18,404人 月額：0歳～3歳未満 15,000 円 3歳～小学校修了前 10,000 円（第3子以降 15,000 円） 中学生 10,000 円 特例給付(所得制限) 5,000 円 所得上限限度額を超える場合は手当等の支給なし ・ 児童手当現況届受付（6月～9月） 児童手当法施行規則の一部改正により、令和4年度分の現況届から公簿等で受給者の支給要件に係る情報等を確認できる場合には提出を省略。公簿等で確認できない受給者について現況届の提出を求めた。 ・ 現況届の省略人数：863人 ・ 現況届該当世帯：一般…18世帯、施設（里親）…2世帯 <p>○ 子どもの育ちを社会全体で応援する仕組みによって、児童の養育者を支援できた。</p>		
決算額	210,399 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	国の制度に基づき引き続き事業を実施し、保護者の経済的支援を行うことにより、児童の健全育成を図る。令和6年10月から、児童手当制度の拡充が予定されている。		

事業名・担当課	No. 4	児童扶養手当等給付事業	子ども育成課
事業概要	18歳未満の児童を養育するひとり親に対し、国の制度に基づき児童扶養手当の支給を行う。20歳未満の障害児を養育する親に対し、国の制度に基づき特別児童扶養手当の受付事務を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18歳未満の子がいるひとり親を対象として月額44,140円の児童扶養手当を支給（所得額、児童数により変動あり）。 多子加算額（第2子5,090円→所得に応じて最大10,170円、第3子以降3,050円→所得に応じて最大6,100円）。 児童扶養手当受給資格者数…130人 支給対象者…104人 全部停止者…（事由別）本人所得19人、扶養義務者所得11人 ・ 20歳未満の障害児を養育する親に支給する、特別児童扶養手当（月額34,900円又は52,400円、県が支給）の受付事務を行う。 特別児童扶養手当受給者数…38人 ・ 児童扶養手当現況届、特別児童扶養手当所得状況届受付（8月） 集中受付（於：市役所）（8/16,17） ・ 児童扶養手当システム使用契約（4/1） 契約者：㈱電算 支払額：1,551千円（システム保守・使用料） <p>○ ひとり親世帯及び障害児を養育する世帯の生活の安定と自立に貢献している。</p>		
決算額	51,661 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	国の制度に基づき引き続き事業を実施し、ひとり親家庭等の児童の福祉向上を図る。令和6年11月から、児童扶養手当制度の拡充が予定されている。		

事業名・担当課	No. 5	児童クラブ等運営事業	子ども育成課
事業概要	児童に健全な遊び場を与え、健康増進と情操の向上を図るため、児童センター・児童館を設置。また、放課後保護者が不在となる小学生の健全育成を図るため、児童クラブを開設する。		
取組内容及び成果	<p>【児童館(センター)運営】委託契約額：18,206千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童に健全な遊び場を与え、健康増進と情操の向上を図るため、登録児童及び一般来館児童を対象に児童館・児童センターを開設し、運営を飯山市社会福祉協議会に委託している。(木島児童館・戸狩児童センター) 登録児童：帰宅時家族が留守の小学生 令和5年度累計利用児童数(登録児童)：木島…5,618人、戸狩…6,639人 自由来館：18歳までの児童 令和5年度累計利用児童数(自由来館)：木島…859人、戸狩…1,119人 <p>【児童館クラブ運営】委託契約額：25,193千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後、保護者が家にいない小学生の健全育成を図るため、児童クラブを開設し、運営を飯山市社会福祉協議会に委託している。(泉台、秋津、瑞穂、常盤児童クラブ) 令和5年度累計利用児童数：泉台…3,461人、秋津…7,111人、瑞穂…4,225人、常盤…3,480人 児童センター等運営委員会(於:市福祉センター)(7/5) <p>○ 放課後児童の健全な遊び場を提供するとともに、児童厚生員・放課後児童支援員の指導により健康増進と情操の向上を図ることができる。</p>		
決算額	43,718 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き事業を実施し、児童の健全育成を図る。施設については、利用児童の増により施設が手狭となっている。 市内の4小学校(泉台、常盤、東、戸狩)を統合し令和7年4月に新統合小学校を新設する。それに伴い、4小学校区の児童クラブを統合し新統合小学校に併設する。 		

事業名・担当課	No. 6	児童福祉施設整備事業	子ども育成課																					
事業概要	保育所、児童センター、児童館等の施設改修や修繕、備品購入を行う。																							
取組内容及び成果	<div>・ 児童福祉施設に必要な施設修繕工事、物品購入等を実施。</div> <div><主な工事等></div> <table><tr><td>・ 常盤保育園</td><td>調理室防湿型蛍光器具取替工事</td><td>115千円</td></tr><tr><td>・ しらかば保育園</td><td>電灯幹線修繕工事</td><td>404千円</td></tr><tr><td>・ とがり保育園</td><td>厨房機器交換工事</td><td>946千円</td></tr><tr><td>・ 常盤保育園</td><td>壁付防犯灯取替工事</td><td>198千円</td></tr><tr><td>・ いずみだい保育園</td><td>調理室修繕工事</td><td>175千円</td></tr><tr><td>・ 紙おむつ回収用ゴミステーション</td><td></td><td>150千円</td></tr><tr><td colspan="3">・ 他、児童福祉施設における、営繕に関わる修繕費等</td></tr></table> <div>○ 児童福祉環境の向上及び施設の適切な維持管理が図られた。</div>			・ 常盤保育園	調理室防湿型蛍光器具取替工事	115千円	・ しらかば保育園	電灯幹線修繕工事	404千円	・ とがり保育園	厨房機器交換工事	946千円	・ 常盤保育園	壁付防犯灯取替工事	198千円	・ いずみだい保育園	調理室修繕工事	175千円	・ 紙おむつ回収用ゴミステーション		150千円	・ 他、児童福祉施設における、営繕に関わる修繕費等		
・ 常盤保育園	調理室防湿型蛍光器具取替工事	115千円																						
・ しらかば保育園	電灯幹線修繕工事	404千円																						
・ とがり保育園	厨房機器交換工事	946千円																						
・ 常盤保育園	壁付防犯灯取替工事	198千円																						
・ いずみだい保育園	調理室修繕工事	175千円																						
・ 紙おむつ回収用ゴミステーション		150千円																						
・ 他、児童福祉施設における、営繕に関わる修繕費等																								
決算額	4,950 千円	評価	概ね順調																					
今後の取組・課題等	全体的に施設の老朽化が進行しているなかで、大規模修繕が必要な施設が増えており、今後の施設整備のあり方等を検討する必要がある。特に増加する保育園の未満児への施設的な対応が課題であり、今後の保育園のあり方（統合）を検討する中で順次整備を図っていく必要がある。																							

事業名・担当課	No. 7	飯山市子ども館等運営事業	子ども育成課
事業概要	子育てに関する複合施設である飯山市子ども館「きらら」の運営及び各種子育て支援施策を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てに関する複合施設である飯山市子ども館の運営等、各種子育て支援施策を実施する。 飯山市子ども館「きらら」 【機能】 児童センター機能、放課後児童クラブ機能、子育て支援センター機能、病後児保育機能、放課後等デイサービス機能 ・ 児童センター機能 委託契約額：4,981千円 令和5年度累計利用児童数：5,874人 ・ 放課後児童クラブ機能 委託契約額：12,925千円 令和5年度累計利用児童数：1,518人 ・ 子育て支援センター事業 子育て支援センター「たんぼぼ」と北部子育て支援センターの2か所を運営。北部子育て支援センターは飯山市社会福祉協議会に運営を委託し事業を行っている。 北部子育て支援センター 委託契約額：1,676千円 令和5年度累計利用児童数：たんぼぼ…2,154人、北部…664人 ・ 病後児保育事業 保育園に在園中で「病気の回復期」にあり、保育園での集団保育が困難な児童を専用の保育室で預かり保育を行う。 令和5年度累計利用児童数：8人 ・ ファミリーサポートセンター事業 依頼会員：36人 提供会員：23人 延べ活動回数：13回 <p>○ 各種子育て支援事業の実施により、幅広い年齢の児童の健全育成が図られるほか、保護者の就労支援に資することができる。</p>		
決算額	24,597 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	土日・長期休み中等、魅力あるイベント等を企画し、さらに利用者増を図る（特に飯山小学校以外の児童の利用促進）。令和6年度から日曜日の子育て支援センター室の開放を開始し、利用者の利便性の向上を図った。その他、相談機能についても機能強化を図る。		

事業名・担当課	No. 8	幼児教育無償化事業	子ども育成課
事業概要	令和元年10月1日から、国の制度による幼児教育・保育の無償化が開始され、飯山市においても3歳以上児の保育料、給食費の無償化を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年10月1日から、国の制度改正により幼児教育・保育の無償化が開始され、私立幼稚園の保育料を無償化した。実費徴収することとされた3歳以上児の副食費についても、飯山市独自に無償化し、令和5年4月からは、認可外保育施設に通う3歳未満児の主食・副食費についても無償化し、子育て世帯の負担軽減を図った。 <p>施設等利用給付 418千円（対象者 28名） 給食費補助金 4,646千円（対象者108名） 物価高騰対応給食費補助 586千円（対象者 2園） 第3子無料化補助 124千円（対象者 2名）</p>		
決算額	6,068 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	国の制度の無償化対象外とされた給食費（副食費）についても、飯山市独自に無償化を行い保護者負担の軽減を図った。今後は3歳以上の主食費無償化も課題となっている。		

事業名・担当課	No. 9	私立幼稚園運営支援事業	子ども育成課
事業概要	子ども子育て支援新制度へ移行した市内私立幼稚園に対し、教育・保育を提供するために必要な給付を行った。また、市内私立幼稚園に勤める幼稚園教諭等の処遇の改善を図るために要する経費について、国の制度に基づき補助金の支給を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度より新制度へ移行した私立幼稚園に対する施設型給付費等の支払いを行う。 <p>施設型給付費等負担金 44,667千円（施設利用者延べ555名）</p> <p>○ 私立幼稚園の安定した運営への支援になっている。</p>		
決算額	44,667 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	引き続き事業を実施し、安定した幼稚園運営が行われることで市内の幼児教育へのニーズに対応する。		

事業名・担当課	No. 10	ひとり親世帯等生活支援特別給付金給付事業	子ども育成課
事業概要	食費等の物価高騰により影響を受ける低所得の子育て世帯（住民税均等割非課税世帯）に対し、特別給付金を給付する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 食費等の物価高騰により影響を受ける低所得の子育て世帯（住民税均等割非課税世帯）に対し、特別給付金を給付。 支給額：児童一人当たり5万円 <p><ひとり親世帯分> 支給総額 9,050千円 122件（児童 181人） 内、令和5年4月分児童扶養手当受給者分:117件（児童 174人） 内、公的年金等受給者分:5件（児童 7人）</p> <p><その他世帯分> 支給総額 6,850千円 76件（児童 137人） 内、令和4年度低所得の子育て世帯生活支援特別給付金 支給対象者分：71件（児童 129人） 内、非課税世帯分：1件（児童 1人） 内、家計急変者分：4件（児童 7人）</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童扶養手当システム改修（子育て世帯生活支援特別給付金）業務委託（4/28） 契約者：㈱電算 支払額：666千円 子育て世帯給付金システム改修（低所得の子育て世帯臨時特別給付金）業務委託（4/28） 契約者：㈱電算 支払額：473千円 <p>○ 物価高騰の影響を受ける低所得の子育て世帯への生活支援に寄与している。</p>		
決算額	21,302 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	令和5年度限りの事業		

事業名・担当課	No. 11	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	子ども育成課
事業概要	食費等の物価高騰により影響を受ける低所得の子育て世帯（住民税所得割非課税世帯）に対し特別給付金を給付する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 食費等の物価高騰により影響を受ける低所得の子育て世帯（住民税所得割非課税世帯）に対し特別給付金を給付。 支給額：児童一人当たり3万円 ＜低所得の子育て世帯（住民税所得割非課税世帯）分＞ 支給総額：3,960千円 65件（児童 132人） 子育て世帯生活支援特別給付金システム改修（長野県子育て世帯生活支援特別給付金）業務委託 契約者：㈱電算 契約金額：788千円 <p>○ 国の支援を受けることが出来なかった物価高騰の影響を受ける低所得の子育て世帯への生活支援に寄与している。</p>		
決算額	4,821 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	令和5年度限りの事業		

事業名・担当課	No. 12	城北中学校区統合小学校児童クラブ整備事業	子ども育成課
事業概要	学校統合に伴う新たな放課後児童の居場所づくりのため、放課後児童クラブを整備する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年4月開校の新統合小学校に併設する児童クラブについて、昨年に引き続き児童クラブ検討委員会を開催。（6/20、09/04） 委員からの意見を運営規定案に反映することができた。 ＜検討委員会の決定事項（概要）＞ <ul style="list-style-type: none"> 運営規定案 定員：120名 開所時間：平日…放課後～18:30、学校休業日：8:00～18:30（現行どおり） 仮施設での運営 令和7年4月～8月下旬までの間、飯山市勤労青少年ホームを仮施設として運営する。 令和7年度開校予定の城北中学校区統合小学校に併設する新児童クラブを整備。 児童クラブ建設工事（R5.8.29～R7.7.15）37,026千円 		
決算額	13,728 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	新統合小学校に新たな児童クラブを併設するため、新たな小学校づくり事業と併せて推進していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 13	子ども家庭課総合支援拠点設置事業	子ども育成課
事業概要	子どもや妊産婦及びその家庭の福祉に関して、情報提供、相談、支援を一体的に行うため、飯山市子ども家庭総合支援拠点を設置。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども家庭支援員を配置し、幼児から18歳までの児童に関する各種相談を受け付け、支援を行う。 ・ 虐待対応専門員（相談室長兼務）：1名、支援員：2名、相談員：1名 ・ 新規相談件数 127件（養護2、保健2、障がい13、育成93、その他17） 延べ相談訪問件数 1,037件 ・ 県中央児童相談所巡回児童相談（女性センター未来） 7/28 ・ そだちネットワーク 9/15、11/27、1/29 ・ 特別支援教育連携協議会 5/18 ・ 県家庭児童相談員連絡協議会総会・研修会 5/30 <p>○ 子ども家庭支援員による相談・支援により、育児の不安や悩みを軽減し、適切な児童養育への支援を行っている。</p>		
決算額	12,603 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度から「こども女性家庭センター」を設置し、すべての妊産婦、子育て世帯、こども、女性を対象に母子保健・女性相談・児童福祉の連携を強化し一体的な相談、支援の向上を図る。 ・ 年々相談件数が増えており、支援員、相談員の負担が増えている。専門的な知識を持った「こども家庭ソーシャルワーカー」等の資格保持者を配置する必要があると思われる。 ・ また、要保護児童対策協議会（児童虐待対策）についても、関係者との連携強化及び機能強化を図る必要がある。 		

事業名・担当課	No. 14	学校給食費負担軽減事業	子ども育成課
事業概要	保護者負担軽減のため、学校給食費の4割を補助。		
取組内容及び成果	<p>令和5年度から、小中学校に通う児童生徒を持つ保護者の方の経済的負担を軽減することを目的として、児童生徒の保護者が負担する給食費に対し補助金を交付する方法で、学校給食費の4割を軽減する事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象児童生徒 小学生774人、中学生423人、区域外就学者10人 <p>学校給食費の補助を行い、保護者の負担軽減が図れた。</p>		
決算額	28,570 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	財政側の理解が必要となるが、段階的に補助割合を上げて、将来的な無償化を目指す。また、国の給食費無償化への動向にも注視していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 15	学力向上総合対策事業	子ども育成課
事業概要	市と校長会が連携し飯山市学力向上事業（第5次学力向上事業（2018～22）の5年次）の取組みを継続的に推進し、小中高連携による学力向上の取組、研修会等を実施、市費加配の学力向上支援員を小中学校に配置。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上支援員の配置 飯山・泉台・常盤・戸狩・東・木島・城南中・城北中 各1名 ・中間教室支援員（心の相談員）の配置 秋津・飯山・城北中 各1名 ・授業改善指導を信州大学教育学部教授へ依頼し、指導を実施。 学力向上夏期研修会 7/26（飯山市公民館にて） その後、学年会、教科会を各会場で実施 ・児童生徒の学力向上のためのテスト・研究会を実施。 ・総合学力調査(4月・12月)と意識調査(4月) 小学生2教科・中学生5教科 ・学力向上委員会 4/25 6/28 8/31 2/27 ・小中学校学年会・教科会 6/14 7/26 10/30(中) 11/14(小) ・中高連携学力向上委員会による授業研究 10/10 <p>総合学力調査では各学校・学級・個人ごとの学力の傾向や、学習意識の把握ができるとともに、全国平均との比較や苦手分野の分析ができ、学校での指導に役立った。</p>		
決算額	17,913 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	数学・英語を中心に学力標準テストの結果分析を効果的に活用するとともに、中高連携、信州大学の指導、各種職員研修を充実させ、教師力・授業力の向上を図りたい。		

事業名・担当課	No. 16	小中学校図書館図書整備事業	子ども育成課
事業概要	学校へ予算配当し、小中学校の図書館図書の充実を図る。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館図書標準」に基づいて、学校図書館図書を購入し図書館の充実に努めた。 		
決算額	3,999 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	令和7年4月開校の城北中学校区新統合小学校の開校も考慮しつつ計画的な図書の購入と、古い図書の廃棄や整理を進め、利用したくなる図書館づくりが必要。		

事業名・担当課	No. 17	教師用教科書指導書購入事業	子ども育成課
事業概要	小学校の教科書改訂にあわせ教師用の指導書を購入。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用指導書及び指導者用のデジタル教科書購入 10,468千円 		
決算額	10,467 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	令和7年度は中学校の教科書改訂となるため、令和6年度に購入する必要がある。		

事業名・担当課	No. 18	学校保健特別対策事業	子ども育成課
事業概要	新型コロナウイルスによる学校再開に伴い、感染症対策や学習保障、また学校教育活動継続のための支援。		
取組内容及び成果	<p>【小学校】 3,199千円</p> <p>【中学校】 919千円</p> <p>・感染流行下における学校教育活動体制整備事業により、換気対策整備支援で各校に46万円ずつ配当し、CO2モニターや網戸、サーキュレーター等を購入した。</p>		
決算額	4,118 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	新型コロナウイルス感染対策による事業がなくなることが想定されるため、本事業の在り方を含め検討が必要。		

事業名・担当課	No. 19	小学校施設整備事業	子ども育成課
事業概要	小学校施設の老朽箇所の修繕を行い備品等を整備した。		
取組内容及び成果	<p>・小学校7校における老朽箇所の工事、委託及び備品整備を行う。</p> <p>飯山小学校屋根安全施設整備工事 825千円</p> <p>常盤小学校厨房機器交換工事 1,320千円</p> <p>秋津小学校窓ガラス修繕工事 385千円</p> <p>飯山小学校雨漏り修繕工事 319千円</p> <p>他 小学校7校の小破修繕、備品整備、消耗品購入等を実施</p> <p>小学校施設の老朽化が進む中、急を要するところから順次修繕工事や備品更新を行った。</p>		
決算額	10,086 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	老朽化による修繕を単年度で全て実施することは難しいため、長寿命化計画に基づき計画的に進める必要がある。		

事業名・担当課	No. 20	中学校施設整備事業	子ども育成課
事業概要	城北中学校体育館のトイレ改修など中学校施設の老朽箇所の工事を行い、備品等の整備を行った。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校 2 校における老朽箇所の修繕工事、委託及び備品整備を行った。 <div> <div>城北中学校トイレ改修工事</div> <div>16,500千円</div> </div> <div> <div>城北中学校格納庫建築工事</div> <div>4,994千円</div> </div> <div> <div>城南中学校防球ネット張替工事</div> <div>7,590千円</div> </div> <div> <div>城南中学校火災警報設備修繕工事</div> <div>4,279千円</div> </div> 他、中学校 2 校における、営繕に関わる修繕費、備品費等		
決算額	37,070 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	老朽化による修繕を単年度で全て実施することは難しいため、長寿命化計画に基づき計画的な施設修繕が必要。		

事業名・担当課	No. 21	新たな小学校づくり事業	子ども育成課
事業概要	令和7年4月開校に向けた検討・準備を進め、城北中学校区新統合小学校の校舎建築工事に着手した。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年4月開校に向け、城北中学校区新統合小学校の整備を行う。 <div> <div>校舎建築工事（R5. 8. 29～R7. 7. 15）</div> <div>3,366,000千円</div> </div> <div> <div>工事監理業務委託（R5. 8. 29～R7. 7. 30）</div> <div>44,000千円</div> </div> <div> <div>敷地周辺伐採工事</div> <div>3,520千円</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開校準備を進める開校計画推進会議を組織し、検討委員会や分科会、部会での検討 <div> <div>校歌の作詞作曲業務委託</div> <div>1,500千円</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域懇談会の実施（9/13～9/20） ・ 地域説明会の実施（12/13～12/20） ・ 開校準備ニュースの発行 月 1 回 		
決算額	418,629 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	引き続き令和7年4月開校に向けて計画どおり整備を進めていく。また9月以降からの新校舎開校のための準備も同時に検討・準備を進めていく。		

事業名・担当課	No. 22	育英資金貸付事業	子ども育成課
事業概要	将来長野県の小中学校の教員を目指す大学生への無利子の奨学金貸付制度のため、育英基金に積み立てを行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・育英基金の積み立てを実施 ・令和5年度貸与対象者13名 月額40千円×12月×13名 ・令和5年度 償還対象者 12名 【制度概要】 <ul style="list-style-type: none"> ・大学等を卒業後6ヶ月後から、貸付期間の2.5倍の期間で返済 返済金額（短期大学60ヶ月、大学120ヶ月：月額：16,000円） ・大学卒業後5年以内に長野県義務教育諸学校等の正規教員に採用され、 3年間教員のその職についたときは、償還額の1/3を上限として免除。 【令和5年度末基金現在高】 46,399千円		
決算額	1,015 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	教員を目指す学生に限らず、一般の大学生に対する貸付も検討が必要。		

事業名・担当課	No. 23	中学校国際交流事業	子ども育成課
事業概要	平成13年から中国深圳外国語学校と第一中学校そして飯山市教育委員会が交流を継続。また平成26年に豪州バサーストハイキャンパス校と姉妹校協定を締結し、市内中学校との交流を通し生徒の視野を広げ、国際化社会に対応できる人材育成を目指す。両校と相互に訪問、ホームステイや授業参加などで交流を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・豪州バサーストハイキャンパス校への訪問を4年ぶりに実施。期間は 11/18～24（7日間）で生徒10名と教育長その他、引率3名で訪問し、異文化交流や国際理解のための経験を積むことができた。 		
決算額	6,431 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	多くの生徒が中国・オーストラリアの生徒との交流を通じ国際交流、相互理解を高めることが望まれる。まだ新型コロナウイルス感染症の影響も残るなかで、交流の方法についても検討が必要。		

事業名・担当課	No. 24	英語教育推進事業	子ども育成課
事業概要	英語教育の充実、児童生徒の英語力向上のため、英語指導主事の雇用、小中学校の英語指導助手（ALT）配置、中学校の英検受験補助事業、GTEC（スコア型4技能テスト）実施事業を行った。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none">・小・中学生の英語力及び英語コミュニケーション能力の向上を図るため、5名の外国語指導助手（ALT）を任用。うち1名が8月に任期満了で入れ替え。・ALT・英語指導主事を雇用し、小中学生の国際感覚と英語コミュニケーション能力の向上につながった。・ALT報酬 10,909千円 セイ・ライト（～R5.8）飯山小、戸狩小、東小 シャーロット・オアリ（R3.11～）木島小、秋津小 ジャネル・マヨ（R4.8～）城北中 ア・カワシ（R5.8～）飯山小、戸狩小・ALT派遣業務委託（2名） 9,570千円 レイモン・バラカンス（R3.8～）泉台小、常盤小、木島小 ロバート・コルビ・オスキー（R4.8～）城南中・GTEC実施委託 9/14 605千円		
決算額	25,055 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	ALTおよび小学校教員の英語授業指導力の向上が望まれる。GTEC実施により中学生の英語技能到達度を計り、授業に生かしていく。 飯山市の子どもたちが生きた英語に触れ、確かな英語力を獲得できるよう取組を継続する。		

事業名・担当課	No. 25	小中学校 I C T 教育推進事業		子ども育成課										
事業概要	国が進めるGIGAスクール構想の実現のため、児童生徒1人に1台の器機を整備。学校のICT活用研究委員会とも連携し、更なる I C T 教育推進に向け取り組みを進めている。													
取組内容及び成果	<div>・GIGAスクール構想により配備したタブレット端末を活用し更なるICT教育を推進するための環境整備を行った。</div> <table><tr><td>小中学校タブレット等保守委託</td><td>631.4千円</td></tr><tr><td>小中学校 I C T 活用支援業務委託</td><td>2,915千円</td></tr><tr><td>校務用PC購入（25台）</td><td>3,410千円</td></tr><tr><td>学校アカウント年度更新委託</td><td>448千円</td></tr><tr><td>小学校タブレット用学習支援ソフト購入</td><td>2,442千円</td></tr></table> <div>環境整備のほか活用についても支援を行い、よりICT教育が推進された。</div>				小中学校タブレット等保守委託	631.4千円	小中学校 I C T 活用支援業務委託	2,915千円	校務用PC購入（25台）	3,410千円	学校アカウント年度更新委託	448千円	小学校タブレット用学習支援ソフト購入	2,442千円
小中学校タブレット等保守委託	631.4千円													
小中学校 I C T 活用支援業務委託	2,915千円													
校務用PC購入（25台）	3,410千円													
学校アカウント年度更新委託	448千円													
小学校タブレット用学習支援ソフト購入	2,442千円													
決算額	13,039 千円	評 価	概ね順調											
今後の取組・課題等	今後はタブレット機器の更新時期となるため、計画的に取り組む必要がある。また更なるICT活用計画を進めていく。													

事業名・担当課	No. 26	冬期学校スポーツ振興事業	子ども育成課
事業概要	飯山市の特徴的なスポーツであるスキースポーツの振興を図るため、小学校2回、中学校1回のアルペンスキー教室を実施。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期スキー振興のため、小中学校でスキー教室を実施。 ・スキー教室指導員委託料 1,730千円 ・リフト使用料（教職員、保護者・指導者）・バス借上げ料 1,048千円 スキー教室の実施により、冬季スポーツの振興が図られた。小学校は2回、中学校は1回実施。		
決算額	2,881 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	ふるさと教育の一環として、クロスカントリースキー同様、引き続きスキーの普及に努めたい。		

事業名・担当課	No. 27	総合教育推進事業	子ども育成課
事業概要	総合的な学習や飯山らしい特色ある教育の推進のための、学校教育へのサポートを実施する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・米づくり学習の運営 各学校で米づくり学習を通じて地域との交流とふるさと学習への体験につながった。 米づくり管理謝礼・消耗品等 413千円 ・ラフティング体験学習委託 477千円 小学5年生を対象に、千曲川でのラフティング体験学習を委託。 千曲川を学び感じる経験を5年生が体験できた。 ・総合学習交付金 総合的な学習の時間で、学校が創意工夫を生かし特色ある教育活動を行うための補助を実施。 小学校3～6年生・中学校全学年を対象 1クラス 10,000円を上限に補助金を支給 630千円 ・飯山市校長会交付金 868千円 ・学校、学級ごとに特色ある総合的な学習をすすめる交付金と、校長会への交付金が多様な教育活動に活用された。 		
決算額	2,406 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	米づくり学習やコミュニティスクールでは地域との協働のあり方、継続性が課題となる。ラフティング体験や総合学習、飯山らしい教育の推進により、ふるさとを知り、その魅力を感じとることを目指す。また、中学校においても、ふるさと学習及び総合学習を充実させたい。		

事業名・担当課	No. 28	平和学習事業	子ども育成課
事業概要	広島平和式典への参列（中学生10名）及び満蒙開拓団の授業（中学3年生）等、平和の大切さについて中学生が学習した。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学3年生対象に満蒙開拓団の学習として阿智村満蒙開拓平和記念館を訪問（城南中7/7・城北中9/4） ・ 8/5～6の広島平和記念式典へ中学生を派遣（中学生10名、引率者3名） 原爆の悲惨さや平和の大切さを実感する学習。参加生徒たちは、文化祭や平和の集会等で報告し全校で成果を共有している。 ・ 丸山邦雄物語（マンガ版）の発刊 		
決算額	2,801 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	満州引揚にかかわる丸山邦雄氏の業績等も授業に取り込むなど、生徒が主体的に関わる飯山らしい平和学習をさらに工夫していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 29	心の教室相談員設置事業	子ども育成課
事業概要	城南・城北中の各学校に生徒からの相談を受ける「心の教室」を設置し、相談員（2名）を雇用。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校の生徒や、悩みストレスを抱えた生徒に対して両中学校各1名の相談員を配置し、相談業務を行う。 教室に入れぬ生徒が相談員と話し状況が改善するなど、校内の居場所の一つとして心の教室が役立っている。		
決算額	2,967 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	「心の相談員」「不登校対策支援員」等のそれぞれの役割と連携を明確化しながら、当市ならではの「不登校防止、早期対応」の有効な体制やシステム構築、学校外機関との連携についても検討していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 30	特別支援教育支援員配置事業	子ども育成課
事業概要	日常生活や学習に支援や配慮が必要な児童生徒に対応する支援教員及び介助員を小中学校に配置する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育現場の状況に応じて、日常生活や学習に支援の必要な児童生徒に対応する支援教員及び介助員を各校に配置。個々の児童生徒に応じた指導や支援を図ることができた。 城南中4名・戸狩小3名・飯山小2名 秋津小・泉台小・常盤小・木島小・城北中 各1名		
決算額	13,889 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	インクルーシブ教育、障がいのある児童生徒への合理的配慮等を備えた特別支援教育の実現のためには、地域ぐるみの支援体制の構築が望まれる。飯山小学校、城南中学校の通級指導教室（県費）や飯山養護学校との連携を推進するとともに、障がいのある子どもや保護者の多様なニーズに応えるためにも支援員や介助員の配置は今後も必要である。		

事業名・担当課	No. 31	不登校児童生徒支援事業	子ども育成課
事業概要	長期の不登校生及びその家庭への支援・指導を行うため、両中学校へ不登校対策支援員（2名）を雇用した。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生及びその家庭への支援・指導を行うため、不登校対策支援員2名を雇用した。 城南中・城北中 各1名 ・飯山市不登校対策委員会を、年2回（6/12、2/20）開催し、基本的考え方の徹底と相互の役割や連絡・連携体制の確認を図った。 		
決算額	3,646 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	長期不登校生だけでなく不登校傾向の児童生徒が増加しており、その原因の見極めと適切な支援が必要。今後設置される教育支援センターと連携を図り、子どもの居場所づくりに取組んでいく。		

事業名・担当課	No. 32	中学校部活動支援事業	子ども育成課
事業概要	教職員の働き方改革の一環として、県の補助（補助率:2/3）を受けて中学校の部活動の外部指導者を部活動指導員として任命する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の外部指導者を部活指導員として委嘱し、競技力の向上と顧問教員の時間外勤務縮減を図った。 ・城南（卓球部、バレー部、スキー部2名）、城北（剣道部、陸上部、卓球部）の計7名 		
決算額	2,480 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	他に職を持っている方への依頼のため、人選の難しさや活動時間の確保は課題である。また、教職員の働き方改革への検証や、地域での部活動に代わる体制検討の道筋など、課題は多い。		

事業名・担当課	No. 33	男女共同参画推進事業	人権政策課
事業概要	第4次男女共同参画計画に基づき、男女共同参画社会の実現を目指す。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画講演会 7/23実施 講師マリンバマミーズ 参加者 58名 ○男女共同参画推進委員、男女共同参画地域推進員、コミュニケーターの各種研修会参加 ○女性のための相談窓口 いいやま人権福祉センターに設置 相談員1名 電話による相談実績 4件 		
決算額	298 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	第5次男女共同参画計画の策定（令和7年度～令和11年度） 女性のための相談窓口は令和6年4月1日からこども育成課へ移管した。		

事業名・担当課	No. 34	人権同和教育推進事業	人権政策課
事業概要	人権同和教育を推進するための各種事業を実施 市民大会の開催、副読本「あけぼの」の配布、人権講座等の実施		
取組内容及び成果	○第51回差別のない明るい飯山市を築く市民大会 12/16開催 参加者316名 作文発表、映画「破戒」上映 ポスター、標語展示 ○副読本「あけぼの」の配布 市内小中学校に配布 小学校399冊 中学校152冊 ○人権講座等の実施 人権同和集落懇談会 9地区（325名）及び11集落（265名）で開催 人権同和教育指導者養成講座 全6回 参加者延べ 704名		
決算額	4,283 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も市民大会、あけぼのの配布、人権講座の実施を通じて、人権啓発活動に努める。		

事業名・担当課	No. 35	飯山雪国大学事業	市民学習支援課
事業概要	講座やセミナーの開催を含めた、公民館の学習活動である雪国大学の運営を行う事業です。		
取組内容及び成果	・夏休み、春休み体験教室、くらしのセミナー、各種講演会、各種成人講座等を開催。新型コロナウイルス感染症を理由とする事業の実施の影響がなくなったため、多くの市民に学んでいただいている。 夏休み体験教室 10教室 135名参加 春休み体験教室 9教室 86名参加 成人講座 16講座 205名参加 地元学講座 2講座 56名参加 6/25 文化講演会「異常気象と向き合う～身近でできる災害対策～」150名 10/1 文化講演会「あらしのよるに」のひみつ 90名 ワークショップ「読んで、作って、絵本と遊ぼう！」 16名参加 6/10 教養講座 爆笑！お笑い健口ライブ 参加者51名 11/19 文化講演会自転車世界一周ボランティアの旅 参加者24名 6/14 子育てセミナー 子どもの上手なしかり方 参加者12名 地区館との共催事業 5事業		
決算額	1,269 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	市民ニーズの把握と時節の話題を取り込み、郷土愛が育まれる事業に取り組む。		

事業名・担当課	No. 36	地区館事業	市民学習支援課
事業概要	各地区公民館での地域活性化及び各種講座・講演会の開催を行う事業です。		
取組内容及び成果	地区館独自行事、講座の実施 飯山市公民館との共催事業の実施 敬老会、慰霊法要等他団体との共催事業の実施 各種研修会等への参加 各種サークル活動支援 公民館報の編集、発行 ・各地区毎に多くの参加者がある。広く募集する事業には、地区外の方も参加している。		
決算額	1,210 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	各地区の特性を活かした講座や事業に取り組み、地域づくりの一助となるよう取り組む。		

事業名・担当課	No. 37	読書普及事業	市民学習支援課
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の購入。 ・読書の普及活動の推進。 		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書数141,430冊（うち笹本文庫17,294冊）前年比2,620冊増。 おはなしひろば（36回、延79組198人） 絵本とわらべうたの会（41回、219組468人参加） ブックスタート（令和5年度末時点で絵本を71人に渡し済み） セカンドブック（出生祝い）（令和5年度末時点で絵本を67人に渡し済み） 親と子の絵本講座（4回開催、延べ6組参加） 保育園貸出（180冊ずつ年4回入替） 図書館まつり（学びのエリア秋まつり）の開催 出張講座等へ講師として司書派遣 SNS（インスタグラム）等も活用した情報発信等 		
決算額	4,925 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館として適宜な情報発信と資料等の収集保存。 		

事業名・担当課	No. 38	文化的景観保護推進事業		市民学習支援課
事業概要	国の重要文化的景観に選定された小菅を中心としたエリアについて、地域住民と連携を図りながら、景観の保護及び活用のための整備を進める。			
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none">・重要構成要素である建物修理への補助 1件・石垣の積み直し実践学習会・小菅の護摩堂修理工事報告書刊行・参道南遺構群試掘調査・重要文化的景観「小菅の里及び小菅山」保存整備検討委員会の開催			
決算額	2,675 千円	評 価	概ね順調	
今後の取組 ・課題等	<ul style="list-style-type: none">・平成29年度に策定した「整備計画書」を基に今後の保存と活用に向けた整備を進めていく。少子高齢化が進む小菅区において、多くの文化遺産を維持・活用していく道すじを検討している。・市は、地域住民が文化財の指定などの規制と自らの生活が共存していけるよう、地元との連携を密にし、個々の事案に対し相談業務や情報提供を引き続き行っていく。			

事業名・担当課	No. 39	文化財保存管理事業	市民学習支援課
事業概要	飯山の宝である伝統文化など文化遺産の伝承・整備・管理を支えることで、その価値の維持と地域の誇りに繋げる。		
取組内容及び成果	市内文化財の維持保存に対する補助 ・正受庵保存管理事業補助（雪囲い）50千円 ・小菅神社奥社保存管理事業補助（雪囲い）64千円 ・正受庵修繕事業補助（本堂・禅堂・茶室修繕）2,276千円 令和5年度は令和4年豪雪により被害を受けた正受庵の本堂屋根等の修繕工事を行い文化財の保存に繋げることができた。		
決算額	2,390 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	自然災害等による緊急的な修理への迅速な対応が求められる。		

事業名・担当課	No. 40	ふるさと学習推進事業	市民学習支援課
事業概要	飯山市の郷土に関する歴史、文化、自然などに関する一般展示、学習会企画展などを行い、飯山を学び、また、郷土愛を育む取組を推進する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展の開催 5/2-6/20 「飯山の巨樹・巨木に会いに行こう！」（来館者1,070名） 6/24-8/20 「発掘されたちっちゃいもの展」（来館者983名） 9/9-11/5 「五東大宮の世界-健御名方富命彦神別神社の宝物展-」（来館者2,938名） 11/18-1/28 「高田瞽女〜心の交流〜」（来館者801名） 2/10-3/17 「飯山城下町ひな街道ひな人形展」（来館者699名） ・体験教室(笹もち作り、組紐作り、まゆ玉作り 等)（参加者計164名） ・出張講座、館内学習他（参加者：市内281名、市外1,173名、セカンドスクール356名 計1,810名） ・飯山ふるさと検定（受検者 一般20名、小学生287名、中学生132名） ・冊子「改訂版飯山市の文化財」発行 1,000部作成 		
決算額	1,830 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	より魅力ある企画展や学習会などを企画し、市内外の大勢の人に「飯山」を知ってもらおうと同時に、飯山の大切な文化を後世に残していく。		

事業名・担当課	No. 41	企画展開催事業	文化交流課
事業概要	年間に企画展2回を開催し、幅広い美術に触れる機会を提供する。また、企画展作家や郷土の特色を活かしたワークショップなどを開催する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展「岩上隆静没後10年展 水彩画に込めた故郷への想い」（7/8～9/10） 郷土の画家、岩上隆静の没後10年を記念し、個人等所蔵作品85点及び美術館所蔵作品15点を合わせて100点を展示。北信濃の風景を質の高い透明水彩の技法で表現した郷土の画家の画業をあらためて顕彰した。入館者数：1,570人 会期中、市バスを活用した企画展鑑賞会を実施し、3校（秋津小・木島小・城南中）317名の子どもたちが来館した。 ・企画展「星野秀樹写真展 木々の集いに誘われて」（9/16～11/26） 福島県出身で2015年に飯山市岡山地区に移住した写真家、星野秀樹氏の写真展を開催した。長年、鍋倉山に通い続けて撮影した星野氏の代表作50点とエッセイ7点を展示し、地域の魅力を再発見すると同時に内外にアピールした。10/21に星野氏によるギャラリートーク「私的写真論 森を撮る楽しさ、難しさ」を開催し、約50人が参加した。入館者数：2,036人 会期中、市バスを活用した企画展鑑賞会を実施し、3校（木島小・戸狩小・城飯山高校）110名の子どもたちが来館した。 ・ギャラリー展「北信濃伝統工芸展」（6/2～7/2） 郷土の伝統工芸である飯山仏壇製作に携わる伝統工芸士、森徳壽氏（彫刻）・藤澤一雄氏（蒔絵）・三ツ井照夫氏（彫金）らが製作した一輪挿しなど身近な工芸品はじめとした北信濃を代表する工芸品を展示した。 		
決算額	3,860 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土出身の美術家に固執せず、当市で紹介することがふさわしい現代美術など様々なジャンルの作品を取り上げていく。 ・企画展に足を運んでももらうための工夫やPRの強化が必要。 		

事業名・担当課	No. 42	芸術文化振興事業	文化交流課
事業概要	芸術文化を楽しむ風土の醸成や、日常的な活動及び市内外の交流・にぎわい活動を推進する文化交流館の運営、並びに芸術文化団体等が開催する事業の支援（補助）、幼児期から芸術文化に触れる機会を提供、交流都市との文化交流事業を実施する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の実施 6/10 なちゅらる寄席第1回三遊亭ときん独演会（小ホール）入場者数 94名 7/10 なちゅらる寄席第2回立川晴の輔独演会（小ホール）入場者数 82名 7/22 富井ちえりヴァイオリンリサイタル（大ホール）入場者数 224名 8/20 津軽三味線輝&輝 三味線ライブ（大ホール）入場者数 107名 9/18 なちゅらる寄席第3回 柳家勸之助独演会（小ホール）入場者数 93名 9/30-10/1 学びのエリア秋祭り（利用者舞台発表ほか）（大ホール） 10/28 大井健ピアノ・リサイタル（大ホール）入場者数 102名 11/11 バロック音楽公演（小ホール）入場者数 83名 11/23 いいやま菜の花寄席「林家たい平」（大ホール） 475名 12/17 「警女GOZE」映画上映・演奏会（大ホール）入場者数 256名 1/20 なちゅらる寄席第4回 三遊亭ときん独演会（小ホール）入場者数 126名 ・幼児芸術鑑賞祭の実施 9/1 「eco実験パフォーマーらんま先生」（園児116名及び保育士・保護者56名参加） ・芸術団体等支援 芸術文化団体が開催する事業（市民芸術祭、芸術文化月間、飯山音楽祭）に対し支援（補助・交付金）を行った。新型コロナウイルスの影響が減少し、それぞれ活発な事業が行われた。 ・文化交流事業 姉妹都市「大阪市」で開催された合唱祭に当市の合唱団が出演し、文化交流の推進を図った。 		
決算額	8,196 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・幅広い年齢層が館に気軽に訪れるような多様なジャンルを提供し、事業展開を図るとともに、その公演に興味のある層に確実に情報を伝えるべく宣伝活動に注力する。		

事業名・担当課	No. 43	スポーツ振興事業	スポーツ推進課
事業概要	市スポーツ協会及びスポーツ関係団体、大会実行委員会等を中心に、誰もが気軽に楽しめるスポーツの環境を整備するため、各種教室や大会の開催、スポーツ選手の育成、強化の支援を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体及びスポーツ大会への支援 5,584千円 スポーツ団体の活動を支援することで市のスポーツ振興が図られている。 ・市民プール運営【32日間、入場者9,084人】 夏場の健康や体力向上、友人、家族などで楽しむ場が提供できた。 ・第50回市駅伝大会【正規14、オープン9チーム参加】 人口減少による選手や役員の選出に苦慮する課題に対応するため、市内を西と東に分け、2年かけて市内を一周するコースに変更。本年度は西側をコースとして、5年ぶりに公道にて開催した。 ・全国スポーツ大会出場選手激励金【延べ個人39、団体12】 1,200千円 スキーのみならず、毎年多くの種目で全国で活躍する選手も増え、選手に対する期待感とスポーツに対する関心も高まっている。 		
決算額	9,040 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・市駅伝大会はタスキをつなぐ競技であり、公民館行事としても開催しているが、関係者からはどちらが優先されるべきなのかとの意見もあるため、駅伝大会のあり方の検討が必要。		

事業名・担当課	No. 44	ジュニアスポーツ振興事業	スポーツ推進課
事業概要	市内の各種ジュニアスポーツ大会開催やジュニアスキー活動への支援、及び中学校休日部活動の地域クラブ移行を進めるための実証事業を行う。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア大会の開催及び大会開催補助 5/14ジュニア陸上大会（185名参加） 7/17ジュニアクロスカントリー大会（175名参加） 8/27ジュニア水泳大会（42名参加） 6/24、25サマージャンプ大会（95名参加） 11/5ジュニア駅伝大会（47チーム） 市民レクリエーションスキー大会（雪不足による中止） 市民スキーフェスティバル（雪不足による中止） ・飯山市ジュニアスキー育成連絡協議会への支援 ・ジュニアスキー専任コーチ、コース整備等委託 <p>地の利を生かしたスキー振興はジュニア育成の協議会でしっかり運用され、全国から世界に向けた選手の輩出に寄与している。また、多様化するスポーツに携わる選手に良い影響を与えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校休日部活動の地域クラブ移行実証事業 <p>卓球部をモデルケースとして実証事業を実施。飯山市スポーツ協会卓球部を受け皿として、飯山市スポーツ協会へ指導者の報酬や支払いなどを委託した。</p>		
決算額	9,537 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・人口減少に伴う競技人口の減少や指導者の確保、中学校休日部活動の地域クラブ移行に伴う受け皿の整備などが課題。		

事業名・担当課	No. 45	スポーツツーリズム推進事業	スポーツ推進課
事業概要	スポーツ資源と観光産業を融合したツーリズム事業		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会開催を通じ、交流人口の拡大等の推進を図る。 4/22 菜の花ゲートボール大会（60チーム、340名参加） 9/17 2023北信州ハーフマラソン飯山大会（ハーフ731名、3km65名） 10/15 チームタクカップ2023（小中学生83名参加） <p>新型コロナウイルス感染症対策が浸透し、感染症法上の5類へ移行したこともあり、菜の花ゲートボール、ハーフマラソンとも4年ぶりの開催となった。タクカップは有名選手によるトークショーも行われ、多くの観客が訪れた。</p>		
決算額	4,750 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	観光産業に寄与するスポーツ大会として、観光関係者との情報共有と連携が重要。		

事業名・担当課	No. 46	体育施設整備事業	スポーツ推進課
事業概要	体育施設の維持修繕や改修により、施設利用者の安全確保と利便性の向上を進める。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館雨漏り防止工事 14,740千円 ・市民体育館防球ネット設置工事 1,760千円 ・市営野球場バックネット改修工事 64,900千円 ・飯山市民プール流水プールろ過循環ポンプ更新工事 4,317千円 施設の老朽化が進み、修繕が追い付かない状況にあるが、施設利用者への安全確保を優先し、利用団体の要望等を踏まえ、改修や更新に順次努めている。		
決算額	89,377 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・危険度や不便さのある施設を優先し、計画的に整備を進める ・利用料金の見直し検討 		

事業名・担当課	No. 47	第82回国民スポーツ大会開催事業	国民スポーツ大会準備課
事業概要	2028年2月に開催予定の第82回国スポ冬季大会のスキー競技（アルペン・クロスカントリー・ジャンプ）と当市で初めて行うカヌースプリント競技について、開催準備と市内出場選手を育成する。		
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・北竜湖カヌースプリントコース基本設計業務委託 3,106千円 ・カヌー選手育成・強化補助 494千円 ・競技用カヌー購入補助 2,800千円 カヌースプリント競技への地元選手排出に向け、ジュニア年代を中心とする育成強化が図れている。 <ul style="list-style-type: none"> ・先催県視察 344千円 10/13～15 かごしま国体カヌースプリント競技視察 2/21～23 やまがた雪未来国スポ視察 ・国民スポーツ大会PR 156千円 のぼり旗(20)、マグネットシート(20) 		
決算額	7,072 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・カヌースプリント競技における、競技役員の育成 ・ジャンプ台の改修と各種車両又は設備等の更新 ・【R7.7開催地決定（予定）】準備委員会から実行委員会への移行 		

事業名・担当課	No. 48	犯罪被害者等支援事業	人権政策課
事業概要	飯山市犯罪被害者等支援条例に基づく犯罪被害者等の支援を行うための支援金及び助成金		
取組内容及び成果	○犯罪被害者等支援金 ○犯罪被害者等日常生活支援助成金 支援金及び助成金の支出なし。		
決算額	0 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も犯罪被害者等の支援に努める。		